

第6回清瀬市補助金等適正化検討委員会議事録（要旨）

会 議 名：平成24年度 第6回 清瀬市補助金等適正化検討委員会

事 務 局：企画部財政課財政係

開催場所：消費生活センター4階会議室1・2

日 時：平成24年11月5日（月曜日）

午後6時30分～午後9時10分

出席者：委員10名（町田委員長、松崎副委員長、北場委員、田村委員、
小川委員、乙黒委員、香西委員、迫田委員、清水委員、
城山委員）

事務局5名（企画部長、財政課長、財政課副参事、他2名）

欠席者：0名

傍聴者数：1名

会議次第

1. 開会
2. 第5回議事録（要旨）の確認
3. 議題
 - （1）補助金適正化の検討について
 - （2）その他
4. 閉会

審議経過

1. 開会

委員長より開会の挨拶

2. 第5回議事録（要旨）の確認

委員長が各委員に対して確認し、各委員が了承

3. 議題

(1) 補助金適正化の検討について

前回に引き続き資料8をもとに各補助金の検討を行い、以下のとおり評価を行った。

●きよせ市民まつり実行委員会補助金

平成24年度予算の段階で見直しが図られて減額しており、現状維持。ただし、市民や各関係団体等の交流や情報交換、世代間交流等の更なるコミュニティ形成の場となるような目的を持つこと。

●青少協地区委員会運営費等補助金

現状維持。ただし、補助金の大半が体育大会に充てられている状況があり、子どもたちの健全育成のためには今の時代にあった他の事業展開が考えられる。今後、詳細については市で実施している行政評価外部委員会等で検討すべき。

●野塩児童館まつり補助金

現状維持。ただし、収入増により補助金を減らせる余地があるとの意見あり。

●地区医師会補助金

地域に貢献しており、補助金だけで運営をしているわけではないことから現状維持。

●有機質堆肥推進助成

現状維持。環境にやさしい農業を推進していく補助目的はいいが、目的を達成するうえで、この事業への補助でいいのかということについては行政評価外部委員会等で検討すべき。

●生分解性マルチ購入助成金

現状維持。環境にやさしい農業を推進していく補助目的はいいが、目的を達成するうえで、この事業への補助でいいのかということについては行政評価外部委員会等で検討すべき。

●浴場組合助成

浴場は人が集まる場であり、地域コミュニティの場としての活用が期待できる。現状の補助金額のなかで、現在の施設整備に対する補助だけでなく、バスで行っているような無料バスに係る費用に対する補助のようなイベント補助についても検討すべき。

●交通安全協会補助金

●役員傷害保険加入補助金

●交通安全協会被服費補助金

1つの事業に対する補助金であるため1つに統合。ただし、交通安全協会補助金の補助対象となっている研修旅行について、効果が期待できないことから研修費用分については削減。

●コミュニティバス運行事業費補助金

現状維持。ただし、バスの運行本数や運行路線については審議の場で検討する必要があるとの意見あり。

●生垣助成

現状維持。ただし、美しい街並みを整備するという目的を達成するには実績が少なすぎることから、PRを積極的に実施していくことを求める。今後も実績が少ない場合は、削減について検討すべき。

●体育協会補助金

現状維持。ただし、各団体への一律補助という配分方法について、今後検討してもいいのではという意見あり。

- 人間ドック受診料助成（国民健康保険事業特別会計）
- 保養施設利用助成（国民健康保険事業特別会計）
- 人間ドック受診料助成（後期高齢者医療特別会計）
- 保養施設利用助成（後期高齢者医療特別会計）

現状維持。ただし、国民健康保険事業特別会計については、一般会計が赤字補てんせざるを得ない状況だけでなく、他会計からの支援金、他の自治体との共同運営によって成り立つ財政構造であることから、廃止してもいいのではないかという意見あり。一方で、多摩市部で高齢化が進んでいる市として、脳ドックへの補助を行ってもいいのではないかという拡充の意見もあり。

- 社会福祉協議会補助金

現状維持。数字では表せない活動が多く、内容については多様化しており、評価することが難しいとの意見あり。

4. 閉会